

## 令和元年度第1回半田市障がい者自立支援協議会議事録

開催日時	令和元年5月8日（水）	10時00分～12時00分
開催場所	半田市役所 会議室303・304	
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員委嘱式</li> <li>2. 副市長あいさつ</li> <li>3. 委員・事務局自己紹介</li> <li>4. 会長・副会長選出</li> <li>5. 半田市障がい者自立支援協議会について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 設置根拠及び目的について</li> <li>(2) 令和元年度協議会組織について</li> </ol> </li> <li>6. 協議事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 専門部会長の選出について</li> <li>(2) 半田市高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会への委員選出について</li> <li>(3) 令和元年度事業計画について</li> <li>(4) 地域生活支援拠点等の市町村認定について</li> </ol> </li> <li>7. 報告事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成30年度部会・検討会等の取組みについて</li> <li>(2) 平成30年度相談支援実績について</li> </ol> </li> <li>8. 意見交換             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 委員が感じる半田市障がい福祉の強みと課題について</li> </ol> </li> </ol>	

<p>出席委員 ( )は欠席委員</p>	<p>田中和彦、立石佳輝、藤田理格、金森大席、中野直哉、神谷日出明、大田優子、井上将志、森田貞子、福永愛子、(石川幸彦)、加藤大樹、野田卓己、竹内稔晴、杉森英子、矢野昭男、山本加代子、石川茂子、岡崎将司、柴田幸子、杉江徳長 ※敬称略</p>
<p>事務局</p>	<p>福祉部長：新村 健康子ども部長：笠井 高齢介護課長：倉本、幼児保育課長：高浪 保健センター事務長：山口、つくし学園 主査：中川 学校教育課 主査：岩本、地域福祉課長：榊原 地域福祉課 副主幹：杉浦、主事：澤田、書記：片山 子育て支援課長：伊藤、主査：内藤、書記：梁川 半田市障がい者相談支援センター長：加藤 副センター長：徳山、小島</p>
<p>次 第</p>	<p>議事概要</p>
<p>4. 会長・副会長選出</p>	<p>(事務局：榊原) 半田市障がい者自立支援協議会設置要綱第6条第1項により、会長及び副会長は委員の互選により定めるとありますが、委員から推薦はありませんか。</p> <p>(金森委員) 学識経験者であり、自立支援協議会を客観的に見ることができるといふ点から田中委員を会長に推薦します。</p> <p>(事務局：榊原) 田中委員を推薦する意見がありましたが、他に意見はありませんか。 他に意見がないようなので、田中委員を会長とすることよろしいでしょうか。</p> <p>(全委員) 異議なし。</p> <p>(事務局：榊原) 異議なしと認め、当協議会の会長は田中委員に決定します。</p>

	<p>設置要綱第7条第1項の規定により、会長が議長となることとされているため、これからの議事は会長にお願いします。</p> <p>(田中会長) 初めての自立支援協議会の参加で重役を任せ、大変緊張していますが、よろしくお願いします。皆で力を合わせて、障がいのある方もない方も誰もが住みやすい地域を目指していきたいと思います。</p> <p>続いて副会長の選出を行います。会長と同じく委員の互選となりますが、委員から推薦はありませんか。</p> <p>(井上委員) 平成29年・30度に就労部会長として活躍された立石委員を副会長に推薦します。</p> <p>(田中会長) 立石委員を推薦する意見がありましたが、他に意見はありませんか。</p> <p>他に意見がないようなので、立石委員を副会長とすることでよろしいでしょうか。</p> <p>(全委員) 異議なし。</p> <p>(田中会長) 異議なしと認め、当協議会の副会長は立石委員に決定します。</p>
<p>5. 半田市障がい者自立支援協議会について</p> <p>(1) 設置根拠及び目的について</p>	<p>資料：P 1～12 (事務局：杉浦)</p> <p>(1) 半田市障がい者自立支援協議会設置要綱に沿って説明します。</p> <p>この協議会は地域の実情に応じた障がい福祉サービスの体制づくりについて協議することを目的とし、設置しています。</p> <p>今年度から、半田市障がい福祉計画の策定・検証に合わせ、</p>

(2) 令和元年度協議  
会組織について

委員の任期を2年から3年に変更しました。

(2)

半田市障がい者自立支援協議会の組織について説明します。

本会議では個々の困りごとから地域の課題を導く協議を行っていきます。グループワークを取り入れることで、各委員から半田市の課題を抽出していきたいと考えています。

運営会議では各部会で検討した課題や、部会では検討できない課題を精査し、内容によっては本会議にあげていきます。運営会議は自立支援協議会の核となる役割を果たします。

各分野の課題をより細かく協議していく場として4つの専門部会を設置しています。

子ども部会では、主に障がいのある子どもやその家族への支援について協議していきます。

就労部会では、障がいのある方の就労や職場への定着支援について協議していきます。

権利擁護部会では、障がいのある方の権利を守る取り組みについて協議していきます。

地域包括ケア部会では、障がいのある方の地域への送り出し、地域での受け入れ態勢について協議していきます。昨年度までそれぞれの協議を地域連携・ひとり暮らし部会と地域生活支援部会に分けて行っていましたが、今年度連携を図る面から統合したものです。

部会以外にも、特定の課題について関係機関との協議を目的に3つの検討会を設置しています。

医療的ケア児支援に係る検討会では、医療的ケアを必要とする子どもやその家族の支援について検討していきます。

行動障がいに係る支援体制検討会では、強度行動障がいのある方を支援できる人材の育成など、支援整備について検討していきます。

学生に関する検討会は今年度より立ち上げた検討会であり、学生を巻き込んだ半田市の福祉体制構築について検討していきます。

事業所連絡会と相談支援連絡会は半田市内の事業所間の連携や、支援員・相談員のスキルアップのための研修を行っていきます。事業所連絡会では今年度、半田市の福祉避難所体制につ

	<p>いても報告し、災害時の各事業所の取り組みや課題について協議をしていく予定です。</p> <p>来年度、半田市障がい者保健福祉計画および半田市障がい福祉計画の見直しとなるため、今年度から両計画の策定に向けて取り組んでいきます。運営会議を作業部会として位置づけ、各部会と連携して進めていきたいと考えています。</p> <p>(田中会長) 委員から質問等はありませんか。</p> <p>(全委員) なし</p>
<p>6. 協議事項 (1) 専門部会長の選出について</p>	<p>資料：なし</p> <p>(田中会長) 設置要綱第8条第3項の規定により専門部会は、会長が任命した部会長および部会長が任命した部会員をもって組織するとあります。</p> <p>就労部会の部会長を立石委員、子ども部会の部会長を藤田委員、権利擁護部会の部会長を金森委員、地域包括ケア部会の部会長を中野委員へお願いしたいと考えていますが、委員から意見等はありませんか。</p> <p>(全委員) 異議なし。</p> <p>(田中会長) それでは、部会長は各部会の運営をよろしくお願いします。なお、部会長以外の委員についても、各部会や研修、イベントへの積極的な参加をよろしくお願いします。</p>
<p>(2) 半田市高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会への委員選出について</p>	<p>資料：P 1 3</p> <p>(事務局：杉浦) 半田市高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会から当協議会に障がい者支援施設関係者の委員選出依頼があったものです。 半田市高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会は高齢者・障が</p>

	<p>い者の虐待早期発見、早期対応、虐待発生防止の体制づくりを目的としており、今年度より障がい者差別解消に関する協議も行っていきます。委員に関しては、福祉分野に限らず医療関係者、弁護士、警察、民生委員の方が就任予定となっています。</p> <p>事務局からは、部会の専門的見地を生かし、権利擁護部会からの委員選出を提案します。</p> <p>また、半田市高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会は今年度より新たに障がい者差別解消のための協議も行っていくことから、当協議会からの推薦ではないですが、新たに障がい当事者として杉江委員にも出席いただく予定です。</p> <p>(田中会長)</p> <p>事務局からの説明および提案について質問等がありますか。質問等がないようなので、委員選出については権利擁護部会より選出するものとし、金森部会長に一任してよろしいでしょうか。</p> <p>(全員)</p> <p>異議なし。</p> <p>(田中会長)</p> <p>金森部会長よろしくお願ひします。事務局は、金森部会長からの報告を受けた後、選出委員に対し必要な事務をお願ひします。</p>
<p>(3) 令和元年度事業計画について</p>	<p>資料：P 14～30</p> <p>(事務局：片山)</p> <p>資料に沿って説明します。</p> <p>本会議は今年度も3回の開催を計画しています。委員からいただいた課題や意見は運営会議等で共有し、検討していきます。</p> <p>運営会議は基本的に2か月に1回、第3木曜日に開催します。今年度の第1回目は6月20日に開催します。</p> <p>相談支援連絡会は毎月1回、第4金曜日に開催します。今年度も多くの勉強会、研修を計画しています。</p> <p>事業所連絡会は福祉避難所やヘルパーの人材不足をテーマとして取り上げていく予定です。</p>

	<p>各専門部会、検討会で取り組み方はさまざまですが、それぞれの目的のもと研修や協議を行っていきます。取り組むべき内容は多くありますが、一つ一つ確実に取り組んでいくことが大切であると考えています。また、この本会議において取り組み状況等は報告していきます。</p> <p>現場職員向け研修は障がい支援に関する基礎内容を中心とし、計7回開催します。</p> <p>(田中会長) 委員から質問や意見はありませんか。</p> <p>(全委員) なし</p>
<p>(4) 地域生活支援拠点等の市町村認定について</p>	<p>資料：P 31～40 (事務局：杉浦) 資料に沿って説明します。</p> <p>平成30年度の報酬改定において、地域生活支援拠点等の機能を担う事業所に対する加算が新設されたことにより、半田市としての事業所認定要件を定めるものです。</p> <p>認定の要件としては次の5つの機能のうち「③緊急時の受け入れ・対応」を必ず満たし、かつ、5つの機能のうち3つ以上を満たすこととします。</p> <p>① 相談（地域移行、親元からの自立） 計画相談支援、地域移行支援、地域定着支援のすべてを実施しており、かつ1年以上の実績があること。</p> <p>② 体験の機会・場（一人暮らし、グループホーム等） 短期入所、共同生活援助（体験利用）、半田市障がい者体験的宿泊事業のうち、1つ以上を事業所登録しており、かつ1年以内に利用実績があること。</p> <p>③ 緊急時の受け入れ・対応（ショートステイの利便性・対応力向上等） 半田市緊急ショートステイ事業の登録事業所であること、または地域定着支援を実施していること。</p> <p>④ 専門性（人材の確保・養成、連携） 強度行動障がい支援者養成研修（実践研修）、医療的ケア</p>

児等コーディネーター養成研修のうち、いずれかを受講している職員を配置していること、または精神障害者支援体制加算対象事業所であること。

⑤ 地域の体制づくり（サービス拠点、コーディネーターの配置等）

半田市障がい者自立支援協議会（本会、運営会議、専門部会、プロジェクト）に参加していること。※事業所連絡会や現場職員向け研修など受講者としての参加は要件として満たさない。

半田市としては、緊急時の受け入れ体制の整備、親亡き後を見据えた体験の機会や場の提供、強度行動障がいのある方や医療的ケアを必要としている方の積極的な受け入れ、障がいのある方の地域移行の推進の強化のため、このような要件としました。

なかでも、緊急時の受け入れ・対応を認定基準の核としたいため、必須要件としました。

昨年度12月の運営会議において諮った内容であり、承認を得ていますが、本会議での承認を受け、半田市の要綱として規定し、施行に向けて調整していきたいとするものです。

（田中委員）

昨年度12月の運営会議において承認されているとのことですが、委員から質問や意見はありませんか。

（中野委員）

③の要件における地域定着支援は、①の要件と同様に実績年数の規定はあるのでしょうか。

（事務局：杉浦）

①の要件では年数を定めていますが、③の要件では特に定めていません。

（田中会長）

他に質問や意見はありませんか。

他に質問や意見等ないようなので、承認してよろしいでしょうか。



	<p>(全委員) 異議なし。</p> <p>(田中会長) 半田市障がい者自立支援協議会として、地域生活支援拠点等の市町村認定について承認します。</p>
<p>7. 報告事項</p> <p>(1)平成30年度部会・検討会等の取組みについて</p> <p>(2)平成30年度相談支援実績について</p>	<p>資料：P 4 1～7 3、当日資料 (事務局：杉浦)</p> <p>(1) 時間の都合上、資料の配布をもって報告に代えさせていただきます。昨年度の各部会等のダイジェストを添付しています。</p> <p>(2) 当協議会設置要綱第2条(1)に基づき、半田市からの委託により実施している相談支援事業に関する実績を示しているものです。資料の配布をもって報告に代えさせていただきます。</p> <p>(田中会長) 本会議後に委員から意見等あれば事務局へお願いします。</p> <p>(事務局：梁川) 子育て支援課より研修の案内をさせていただきます。資料に書いてある通り、5月～6月にかけて3回の研修を行います。参加の検討をよろしくお願いします。</p>
<p>8. 意見交換</p> <p>(1)委員が感じる半田市障がい福祉の強みと課題について</p>	<p>資料：なし 進行：事務局(加藤)</p> <p><b>【強み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所間のつながりが強い。</li> <li>・事業所数が多い(特に就労継続支援B型)。</li> <li>・福祉、医療等、関係機関のつながりができている。</li> <li>・福祉施策が先進的なものがある。</li> <li>・生活関連施設(学校、病院等)が充実している。</li> <li>・施設のバリアフリー化が(以前に比べて)進んだ。</li> </ul>

- ・半田市の中で障がいのある方の生活全般をまかなうことができる。
- ・地域移行の際の連携体制ができている（相談先がしっかりある）。
- ・虐待等が発生した際の対応が迅速。
- ・ふくし共育などが実施されている。
- ・市や県による支援がある。

### 【弱み】

- ・就労継続支援B型の専門性が低い。
- ・建物の基準上、受け入れることができない場合がある（バリアフリーの関係）。  
→働ける人が働けない。
- ・事業所と就労先とのつながりをつくることが課題。
- ・生活関連施設がある強みを生かしきれていない。
- ・自立支援協議会の1年間の取組みを総括して次に進むべき。
- ・訪問看護の障がいのある方への支援方法が分からない。
- ・事業所が多いからこそ、誰が救うのか。（セーフティネット）があいまい。
- ・“器用貧乏”な事業展開。  
個の課題を解決するスキーム作り。
- ・精神病院からの地域移行。  
入院前に地域で支える仕組みがほしい。
- ・軽度の知的・発達障がいのある方々への義務教育卒業後の生活支援（就学・就労）。  
早期発見が必要。愛着形成（幼少時）の問題がある。
- ・特別支援学級が支援を受けにくい。
- ・特別支援学級と特別支援学校との連携。
- ・子ども部会でのバスツアーを特別支援学校へも拡大する。
- ・子どもの放課後の過ごし方。保護者のニーズとして、18時30分まで預かることができる放課後デイサービスがない。
- ・学童職員のスキルアップ不足。
- ・一般施策から障がいのある子供たちが排除されている。福祉サービスだけでなく、幅広い施策で支えていくべき。
- ・良い人が気持ち（感情）で対応しており、うまくいかない場合に対応できていない。

- |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・身元保証や住宅確保時に安易に成年後見人を設定しており、検証不足。</li><li>・障がいのある方に対する病院の対応が悪い。</li><li>・障がいのある人も、福祉事業所以外の社会（外）へ出ていくことが必要。</li><li>・特別支援学校ありきではない就学先の選択。</li><li>・障がいのある方同士が半田市内で交流する場がない。</li><li>・職場になじみにくい。</li><li>・生活介護が十分に行き届いていない。</li><li>・障がいのある方が、その保護者（親等）へ危害を加える（虐待）ケースが増えている。</li></ul> |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|